

特集

# だれもが どれも 選べる社会へ



#ジェンダー #学校 #ランドセル

**Q** 最近「ジェンダー」って言葉を聞くけど「性別」と何が違うの？

**A** 「性別」は身体的特徴を指していて、「ジェンダー」は社会的に作られる性差のことを言います。例えば「女性は家事が得意」とか「男性は強くなくてはいけない」というジェンダーに基づく決めつけがあり、多くの人の心をしばっていて、問題になっています。

**Q** 昔は授業が男女で分けられていたってホント？

**A** 以前は家庭科の授業は女子で技術は男子に分けられていた時がありました。当時は女性は家庭に、男性は仕事にという意識が強く、それが学校教育まで影響していました。1990年頃から男女共通の科目になりました。



**Q** 昔はランドセルの色は女子は赤で男子は黒だって聞いたけどホント？

**A** 40年くらい前はランドセルの色は女子が赤で男子が黒でした。本来、色に性別との関係はないのですが、管理のしやすさなどから男女で色分けすることが多くありました。今のランドセルの色は青、茶色、紫、水色などさまざまです。自分の好きな色を選べるようになりました。



**Q** 最近制服の選択ができる学校が増えてきたけど、どうして？

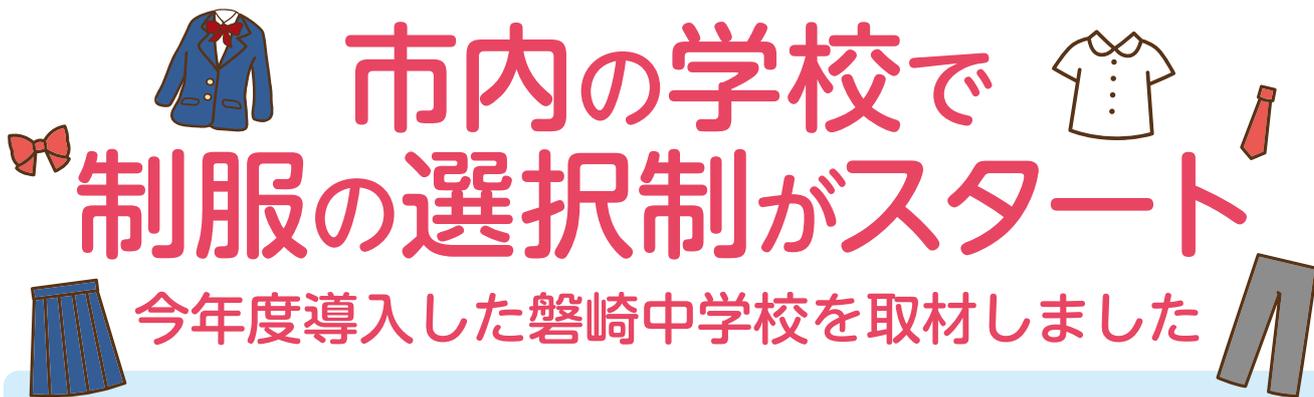
**A** 身体と性自認が一致しないトランスジェンダーの生徒への配慮に加え、暑さや寒さ対策、動きやすさの確保などさまざまな理由があります。スカートかスラックスをその日によって着ることもできます。



## 学校生活の変化について

制服やランドセル以外のものも変化してきました。例えば昔の女子用体操服などは、ブルマやワンピース型の水着など、体のラインが目立つものでした。また、男子の水着は上半身が裸になるのがあたりまえでした。今は人権教育の一環として、ラッシュガードを着用できるなど、水着や体操服も体のラインが出ないものになってきています。授業についても、ジェンダーに関することや性の多様性についてのことが増えてきました。「女性らしさ」「男性らしさ」ととらわれない、一人ひとりが自分らしく社会生活を送るための取組みが増えてきています。





# 市内の学校で 制服の選択制がスタート

## 今年度導入した磐崎中学校を取材しました

昨年度、導入を検討された新井前校長先生  
(現勿来第一中学校長) にお話を伺いました。

**Q** 選択制を導入することになったきっかけは？

**A** 男女で決められた制服に違和感を感じる小学生の存在を知ったことがきっかけです。生徒、教職員が「人権」を意識して、誰一人とりこぼすことなく、生活しやすい学校を作る必要性を感じ導入を決めました。



**Q** 選択制導入のために取り組んだことは？

**A** 教職員で「性の多様性」についての研修と選択制導入に関する議論を重ねました。また、生徒や保護者が正しい知識を身につけるよう、「性の多様性」に関する授業や講演会を開きました。さらに地域住民の理解を得られるよう、小学校や公民館で新制服の展示をしたため、大きな混乱なく導入まで至りました。

**Q** 新制服の選考委員はどんなメンバーでしたか？

**A** 選考委員として教職員全員28名・生徒会本部7名・PTA執行部・小学校PTA会長2名を選出しました。



**Q** 生徒や保護者からはどんな要望が？

**A** 導入に関しての反対意見はゼロでした。  
生徒からは  
「軽いのがいい」  
「シワになりにくい」  
「かわいいのがいい」という意見が、  
保護者からは  
「ウォッシュابل・速乾性が良い」  
「ウール混よりも通気性を重視したい」  
「汚れが目立たない」「価格をおさえる」という意見がありました。

**Q** 新制服を見た反応は？

**A** 保護者からは  
「娘はスカートをはきたがらないので、以前は中学校入学を悩んでいたが、スラックスを選んで安心したようだ」  
「いわき市の最初の取組みがいい」  
公民館長によると見本を見た  
地域住民などからは  
「孫の制服を見てみたかった」  
「最近の制服はかわいいねえ」  
などの反応がありました。

